

### 動物園のじじい撮影会が雑誌の特集だ

旭山動物園を舞台に、町内の小学生が写した携帯写真の作品がこのほど、ファッション雑誌「WWD」(INFASパブリケーションズ発行、変形A4版147頁、定価780円)に6ページの特集記事「旭山動物園にケータイで潜入 キッズフォトグラフィアーが行く!」として掲載になりました。



国内携帯電話会社の協力で写真の町実行委が主催しました。初めての試みです。町内の小学生に参加を呼びかけ、3月9日、37人が旭山動物園を訪れました。携帯電話に付属しているカメラ撮影機能を利用してデジタル写真を撮ってもらいました。子供たちは、手にした携帯電話のデジタル写真撮影機能

機を駆使して園内を縦横無尽。人の被写体は、やはりペンギンのお散歩、しるくま館で迫力あるシロクマのダイビングショット。画面から飛び出しそうな迫力写真の数々が誌面いっぱいになって盛りだくさんです。町文化ギャラリーでは「こども写真撮影会作品展」(6日まで)として展示しています。



旭山動物園を舞台に、町内の小学生が写した携帯写真の作品がこのほど、ファッション雑誌「WWD」(INFASパブリケーションズ発行、変形A4版147頁、定価780円)に6ページの特集記事「旭山動物園にケータイで潜入 キッズフォトグラフィアーが行く!」として掲載になりました。

### 「まちなか」の講演会開く

4月17日、農村環境改善センターで雑誌北海道「まちなか」編集長、ヒロ中田氏を講師に迎えて「東川町にぎわいづくり講演会」が開かれました。町の活性化策を探ろうと町内の若手商工会員の有志が「ご当地グルメを考える会」(高島郁宏代表)を立ち上げて開きました。

まちづくり、活性化に関心が高い町民が集まりました。

観光地としての魅力度アップ、満足度アップ、「また来たい度」の大幅アップが必要。道内主要観光地の調査から示されたという結果から、中田氏は「地域に対する満足度を高めてリピーターを増やすには、期待値を高める必要がある」と提言。「魅力的な商品を開発して地元消費を促進することが大事。グルメ力、お土産力、イベント力、道の駅力、高めること」と力説しました。

その切り札提案は、じゃらんプロデュースの「新・ご当地グルメ」の開発。

「じゃらんと一緒に進める」ことを前提に「連携と競争、マーケットを作り出す、常識では考えない、直観力と買い手の心理、納期を決めて

### 庄内さん青木さん小野さんの3人町スポーツ賞

3月26日、農村環境改善センターで平成19年度東川町スポーツ賞の授賞式がありました。町体育協会副会長、町バドミントン協会会長、町軟式野球連盟理事の庄内東出夫さん、町卓球連盟会長の青木哲也さん、町体育協会会長、町バレーボール協会副会長、町パークゴルフ協会副会長の小野利昌さんの3人が受賞し、三宅良昌教育長から表彰状と記念のトロフィーを受けました。



受賞者の庄内さん、青木さん、小野さん(右から順に)

庄内さんは、1973(昭和48)年に町体育指導委員の活動を始めて以来、永年町スポーツ振興に貢献してきました。B&G財団東川海洋センターの開館(平成3年)と同時に新スポーツ、テニボンの普及活動にも貢献しました。

小野さんは、1972(昭和47)年に体育指導委員として活動を始めて以来、町体育協会会長、町体育指導委員協議会長など、町スポーツの振興、推進の活動を幅広く進めました。ミニバレーボールを学校開放事業、ミニバレーボール協会設立にも貢献しました。

### 上菅内公園を切りつなぐパークゴルフ大会

4月20日、忠別川右岸の親水公園河川敷パークゴルフ場で、上川管内トップを切って今季初のパークゴルフ「ブリヂストンスポーツカップ」大会が開かれ、約200人が春一番のそう快ショットを楽しみました。

朝から気温がぐんぐん上がり、最高気温は七氏22度と6月中旬並みまで上がって好天に恵まれました。旭川市内や町内からの出場者は、いずれ劣らぬ好プレーヤーがずらり。参加者の多くは冬期間もインドアコースで練習を重ねてきたようで、



この日を待ち切れなかったように次々と好成績をたたき出し、ホールイン・ワンも19人(うち2回2人)が記録しました。今年、例年より雪解けも10日以上早かったため、コースの芝も良好。そのため好記録が続出し、36ホールすべてを「パー」で回っても中位程度の成績にしかならないほどです。

旭川市内からご夫婦で出場した男性の優勝はスコア「90」、女性は同じく旭川市内からのご夫婦参加者が「99」のハイスコアをマークしました。

### 新1年生も交通安全教室

「道路の横断は、右見て、左見て、もう一度右を見て」。町内の新1年生にも交通安全マナーを覚えてもらう交通安全教室が町内の小学校で開かれました。

15日、第一小(大島峰夫校長)では、7人の新入生を含めて全校生31人が駐在所のお巡りさんから交通ルールを学びました。黄色い交通安全ヘルメットをかぶ



り、入学のお祝いに買ってもらったばかりのびかびかの自転車で校庭に集まりました。信号機と横断歩道の練習道路でちよつびり緊張気味の練習スタートです。

「信号が青になってもすぐに渡らず、左右を良く見てから渡りましょう」とルールを覚えた後、学校の近くの町道交差点に出て事故に遭わないルールを確かめました。